



2020年度実施
2021年4月入学

筑波大学 令和3年度 入試案内

University
of
Tsukuba



2020年4月改訂版

contents

- どこが変わる？
入試改革のポイント
- 筑波大学の入学者選抜
- 入学後に学群・学類が選べる！
総合選抜とは？
- 入学後の教育・サポート



発行 筑波大学 アドミッションセンター
筑波大学 教育推進部入試課
住所 茨城県つくば市天王台1-1-1
URL <https://ac.tsukuba.ac.jp/>

Message from President

学長からの メッセージ



私たちが暮らす社会は、AIやIoTなどの革新につながるデジタルサイエンスの発展の渦中にあります。未来を生きる皆さんは、大学において、専門分野のみならず幅広い分野に触れ、新たな社会を切り拓く能力を身につけてほしいと思います。

筑波大学は、開学以来、多様な分野を見わたす力と確かな専門的知識に基づく学際的研究・教育を先導する人材の育成を行ってきました。その理念をさらに推し進め、2019年度から新たなリベラルアーツ教育を実施しています。これは、総合科目、体育、外国語、情報、国語、芸術といった一般的な知の探究に加えて、「専門導入科目」として、自分の専門としたい分野に関する知識や技能のほか、様々な専門分野の基礎を学びます。つまり、学問分野を広く俯瞰しながら、自分が学ぼうとする専門分野の特徴を理解し、あわせて多様な学問分野の融合の可能性を考えるものです。中世ヨーロッパで文法・修辞・論理の3科に算術・幾何・天文・音楽の4科を合わせた自由7科として確立していたリベラルアーツを本学ではさらに深化させました。本学では全ての1年生が各学類・専門学群が提示した専門分野の基礎を自由に選択し、学修します。

これに呼応して、2021年度入試(2020年度実施)から個別学力検査等(前期日程)に「総合選抜」を導入します。総合選抜は、学群・学類の枠を越えて、文系と理系の広い区分で学生を受け入れるものです。この選抜方式で入学した学生は1年次に総合学域群に所属し、様々な興味と関心を持った仲間とともに学修し、将来を語り合い、自らの未来に思いを馳せながら、2年次以降の進路を主体的に決定します。カリキュラムや進路について、いつでも相談できるサポート体制も用意しています。この選抜方式を、受験時に学群・学類を決める「学類・専門学群選抜」とは別に、全体の約25%を募集人員として設定します(体育専門学群は除く)。

本学ではこれまでも学力の3要素の基礎である「知識・技能」に加えて、高度な「思考力・判断力・表現力」を求めてきており、かつ推薦入試などで「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(以下、主体性等)」を積極的に評価してきました。2021年度入試からは前期及び後期日程においてもこの「主体性等」の評価を取り入れます。「総合選抜」方式においては調査書を活用するほか、「学類・専門学群選抜」方式及び後期日程においても各学類・専門学群によって方法は異なりますが「主体性等」についての評価をします。

これらの新たな入試と教育システムの構築は、皆さんが知性・人間性・逞しさにあふれ、主体的に将来を創造し、学修してくれることを期待しているからです。

つくばでお会いしましょう。

筑波大学長 永田恭介

筑波大学 令和3年度 入試案内

2020年度実施
2021年4月入学

入試の種類・募集人数	3	入試の種類・募集人数
入試改革のポイント	5	入試改革のポイント
入試について Q&A	10	入試について Q&A
総合選抜とは	11	総合選抜とは
入試カレンダー	15	入試カレンダー
入学後の教育	17	入学後の教育
入学後の教育について Q&A	20	入学後の教育について Q&A
学類・専門学群への移行について	21	学類・専門学群への移行について
総合選抜入学者サポート体制について	23	総合選抜入学者サポート体制について
入学者選抜要項・学生募集要項の発表	25	入学者選抜要項・学生募集要項の発表
お問い合わせ	26	お問い合わせ

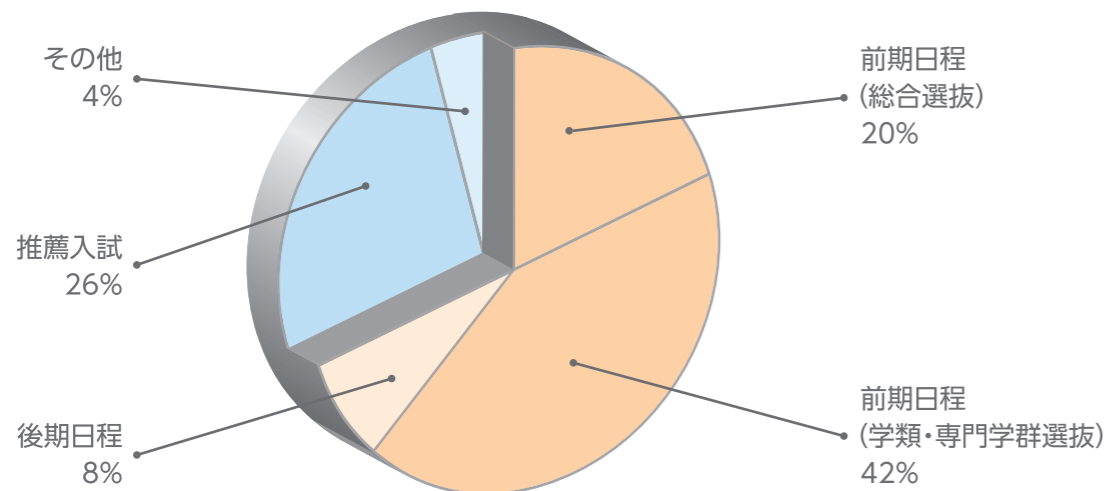
筑波大学の入学者選抜

入試種別

筑波大学では、より良い入学者選抜を目指して多様な入試を実施しています。

入試区分	一般選抜			学校推薦型選抜		総合型選抜			グローバル選抜							
	個別学力検査等 前期日程(総合選抜)	個別学力検査等 前期日程(学類・専門学群選抜)	個別学力検査等 後期日程	推薦入試	推薦入試(大学入学共通テストを課す)	アドミッションセンター入試	研究型人才入試	国際科学オリンピック特別入試	国際バカロレア特別入試	海外教育プログラム特別入試	帰国生徒特別入試	私費外国人留学生入試	私費外国人留学生特別コース入試	Japan-Expert(学士)プログラム特別入試	地球規模課題学位プログラム(学士)入試	総合理工学位プログラム(学士)入試
大学入学共通テスト	●	●	●		●		●									

令和3年度(2021年度) 募集人数における割合



令和3年度(2021年度) 学類・専門学群の定員と募集人員

学群	学類・専門学群	入学定員	個別学力検査等				推薦入試	アドミッションセンター入試	研究型人才入試	国際科学オリンピック特別入試	国際バカロレア特別入試	海外教育プログラム特別入試	帰国生徒特別入試	私費外国人留学生入試	留学生特別プログラム入試*2
			総合選抜	前期日程		後期日程									
人文・文化学群	人文学類	120	30	45	20	20	5			若干				若干	
	比較文化学類	80	20	35		20	5			若干				若干	
	日本語・日本文学類	40	20			14	3			若干					3
国際学群	社会学類	80	20	40		16				若干					4
	国際総合学類	80	20	36		20				若干					4
人間学群	教育学類	35	3	22	3	7				若干				若干	
	心理学類	50	5	26	4	15*1				若干				若干	
	障害科学類	35	3	17	3	12				若干				若干	
生命環境学群	生物学類	80	20	14	18	20	3			若干	若干		若干	若干	5
	生物資源学類	120	20	52	15	27				若干					6
	地球学類	50	13	21	4	12				若干				若干	若干
理工学群	数学類	40	10	22		8				若干				若干	
	物理学類	60	15	20	10	15				若干	若干			若干	
	化学類	50	13	14	10	13				若干	若干			若干	
	応用理工学類	120	30	49	22	16				若干				若干	3
	工学システム学類	130	33	55	20	20				若干				若干	2
	社会工学類	120	30	60	15	15				若干				若干	
情報学群	情報科学類	80	20	42		10	8			若干	若干			若干	
	情報メディア創成学類	50	18	20		8	4			若干	若干			若干	
	知識情報・図書館学類	100	45		10	40	5			若干				若干	
医学群	医学類	134	5	44		44		若干		3	2				
	看護学類	70	5	40		25				若干				若干	若干
	医療科学類	37	10	15		12				若干				若干	
体育専門学群	240			140		88	12			若干		若干	若干		
芸術専門学群	100	5	50	5	40					若干		若干	若干	若干	
合計	2101	413	897	159	555	45				3	2			27	

*1 人間学群心理学類の推薦入試では、大学入学共通テストを課します。

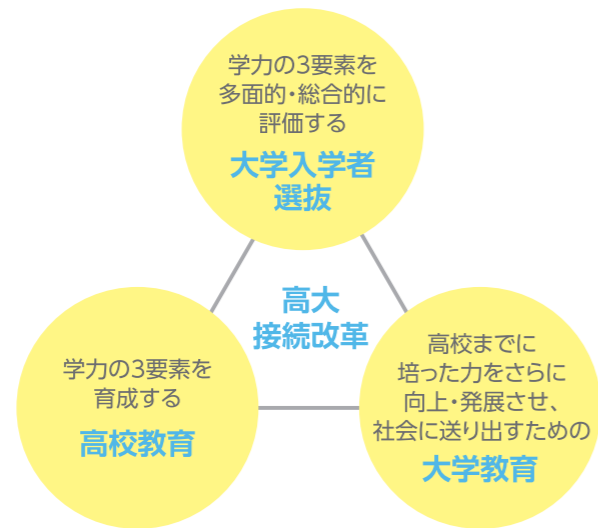
*2 「私費外国人留学生特別コース入試」「Japan-Expert(学士)プログラム特別入試」「地球規模課題学位プログラム(学士)入試」「総合理工学位プログラム(学士)入試」を合計した数を示します。

入試改革のポイント

令和3年度(2021年度)入試改革のポイント

「2021年度入試から、大学入試が大きく変わると聞いたけど、結局何が違うのだろう…」というみなさんへ。
筑波大学の入試改革の取り組みを説明します。

現在、国が進めている改革は、高校教育、大学教育、それをつなぐ大学入試の一体的な改革(高大接続改革)です。

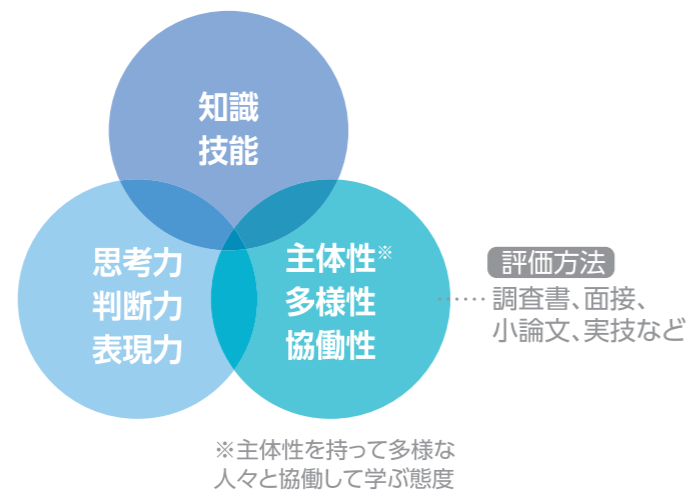


このような改革を進める背景には、急激な社会状況の変化に対する危機感があります。

働く世代の人口が減少する一方、国際化や情報化はますます進んでいきます。みなさんが社会の担い手となる頃には、世の中の仕組みや職業のあり方は大きく変わっている可能性があります。

そのような社会で活躍するためには、何かを知っている、何かができるだけでなく、自分で考え、それを発信していく力、そして多様な人々と協力して問題を解決する力や態度が必要になってきます。

『学力の3要素』(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)とは、分かりやすく言えば、上で述べた力のことです。



実は、学力とは単に何かを知っている(知識)、何かができる(技能)だけではありません。自分で課題を見つけるという主体性や、その課題を解決するために必要な思考力、判断力、そして結果を伝える表現力もまた重要な学力であるという考えは、ずいぶん前から主張されていました。

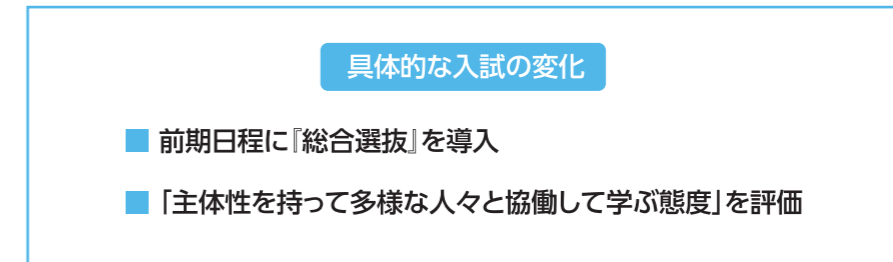
そしてその考え方は徐々に浸透しています。総合的な学習の時間、探求的な活動、対話形式や発表形式の授業、キャリア教育など、学校教育は一昔前と大きく様変わりしています。つまりみなさんは、既に学力の3要素をバランスよく身につける教育を受けているのです。その力をできるだけ総合的に評価しましょう。これが今回の入試改革の骨子です。

筑波大学では従来から、一般選抜(個別学力検査等前期日程・後期日程)において、「基礎的な知識・技能」にとどまらない、高度な「思考力・判断力・表現力」を求めてきました。さらに、推薦入試やアドミッションセンター入試では、面接や自己推薦書を通して、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を積極的に確認及び評価してきました。

みなさんが高校で身につけている積極的に考える力や表現する力、問題を解決する力を知識や技能と同様にていねいに確認することが、みなさんの可能性をさらに豊かにすると考え、2021年度入試からは、一般選抜においても「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価を導入し、すべての入学者選抜を高校教育における学びの成果や姿勢を多面的に評価する入試へと発展させていきます。

また、高大接続で高校からバトンを引き継いだ「大学教育」側の改革として、筑波大学は、細分化した専門領域の枠を越えて学ぶことのできる新たなリベラルアーツ教育を実施しています。多様な分野を見渡す力と専門的知識を基礎とした学際的研究を先導する人材の育成を行うため、2021年度入試から一般選抜前期日程に、受験時ではなく入学後に学類・専門学群を決める『総合選抜』を導入します。

これらの大学入試、大学教育を経て、みなさんが卒業後に社会で大きく活躍できることを目指しています!



変化1 前期日程『総合選抜』の導入

これまでの筑波大学の入試は出願時に学類・専門学群を決める方式でした。2021年度入試から前期日程の募集人員のうち約3割を、学類・専門学群の枠を越えて選抜する『総合選抜』として実施します。約7割は従来どおり出願時に学類・専門学群を決める方式とし、『学類・専門学群選抜』という名称で実施します。



*日本語・日本文化学類「知識情報・図書館学類」は、前期日程(学類・専門学群選抜)を実施しません。前期日程(総合選抜)を受験して、2年次から移行することになります。
*「体育専門学群」は前期日程(総合選抜)の移行先に含まれません。

『総合選抜』で入学した学生は2年次から学類や専門学群に所属します。自分の研究したいことがどの学類でできるのか大学で学んだうえで決めたい、また、興味がたくさんあり何でも学んでみたい、そのような人が入学後に様々な専門領域を学修し、幅広い力を身につけながら進む道を見つけるための入試です。

⇒詳しくはP.11へ

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度一般選抜において、調査書を用いた主体性等評価を見送ります。このため、調査書の配点を除いた総点で選抜します。

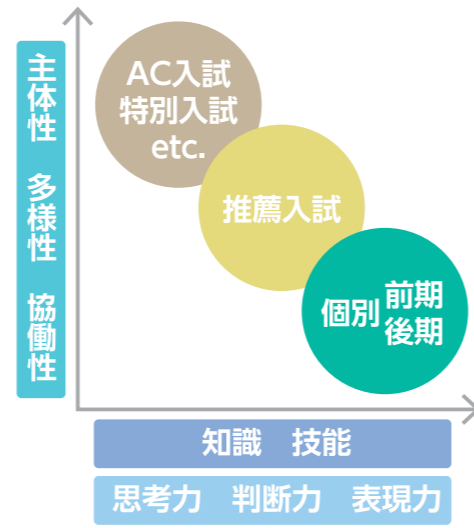
変化2 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性等)」の評価

考え方

学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」の評価のバランスは、選抜ごとに異なります。一般選抜では、推薦入試やアドミッションセンター入試に比べて、「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」がより重要であることに変わりありません。一般選抜での「主体性等」の配点は、例えば前期日程(総合選抜)では、総点の約2%です。

評価方法

筑波大学では、一般選抜において、いくつかの方法で「主体性等」を評価します。調査書、個別面接、口述試験、集団面接、集団討論、小論文、実技、志望動機書、適性検査です。方法によって求める力が異なりますので、募集要項等でそれぞれの方法とアドミッション・ポリシーをよく読んでから受験してください。



調査書を利用した「主体性等」の評価方法(総合選抜)

前期日程の総合選抜や多くの学類・専門学群では、調査書を利用して主体性等を評価します。総合選抜では、下表の5つの項目を評価します。調査書にはそれぞれの項目に対応する記載欄があります。これらは、高校での通常の学びの中で十分取り組める内容であり、既にほとんどの学校で調査書に記載されています。

調査書を利用した「主体性等」の評価基準(総合選抜)

総合選抜の「主体性等」として評価するのは、一般的な高校生活の中で正規の授業時間を越えて行った取り組みや全員に等しく課されていない活動等の事実です。例えば、「1 学習等」では、授業で学んだことを活用する姿勢や取り組み、グループワークでの協働性、学習上の創意工夫等が該当します。判断基準は、取り組みの有無で、内容ではありません。「2 部活動・ボランティア・留学等」や「3 特別活動」も、活動の有無を評価しますので、調査書に書かれた文章の表現や量は関係ありません。

「4 その他の活動等」では、「1～3」に該当しない授業時間を越えて行った取り組みや全員に等しく課されていない活動を評価します。例えば、校内での課題研究・探求活動や校外での自由研究やスポーツ・芸術活動等が該当します。

「5 賞・資格等」では、8ページにある校長会等が実施する検定試験や、科学オリンピックでの一定以上の成績に限定します。外部英語4技能試験については、「5 賞・資格等」の対象とはしません。

旧調査書を提出する者や調査書を提出できない者についても、不利にならないような配慮をします。

項目	該当する調査書の欄	高い評価となる例
1 学習等	7.指導上参考となる諸事項(1)学習における特徴等、(2)行動の特徴、特技等	(1)または(2)に主体的・協働的な取り組み等に関する記載が3年分ある。
2 部活動・ボランティア・留学等	7.指導上参考となる諸事項(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等	具体的な活動の記載(部活動名等)が2つ(2年分)ある。
3 特別活動(生徒会・委員会・クラス係等)	6.特別活動の記録	具体的な活動の記載(役職名や係名等)が在学期間中に1つある。
4 その他の活動等	7.指導上参考となる諸事項(6)その他(補助的に「5.総合的な学習の時間」の内容・評価)、「8.備考」も使用する)	校内・校外での上記に該当しない活動の記載が在学期間中に1つある。
5 賞・資格等	7.指導上参考となる諸事項(4)取得資格、検定等、(5)表彰・顕彰等の記録	全国的な評価が在学期間中に1つある。

調査書イメージ

5.総合的な学習の時間の内容・評価	活動内容				
	評価				
6.特別活動の記録		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
7.指導上参考となる諸事項	第1学年	(1)学習における特徴等	(2)行動の特徴、特技等	(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等	2
		(4)取得資格、検定等	(5)表彰・顕彰等の記録	(6)その他	4
	第2学年	(1)学習における特徴等	(2)行動の特徴、特技等	(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等	2
		(4)取得資格、検定等	(5)表彰・顕彰等の記録	(6)その他	4
	第3学年	(1)学習における特徴等	(2)行動の特徴、特技等	(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等	2
		(4)取得資格、検定等	(5)表彰・顕彰等の記録	(6)その他	4
8.備考					

何をすれば良いのか?(総合選抜)

無理に特別な活動や資格の取得をする必要はありません。評価も、「1～3」で「主体性等」配点の90%となり、一般的な高校での活動範囲内で十分ですので、過度に主体性等評価を意識する必要はありません。

筑波大学が目指すものは、より良い高大接続です。調査書で無理に点数差をつけるのではなく、主体性等の評価を通じて高校教育の現状や改革の方向をよりよく理解するために活用していきたいと考えています。

資格	<ul style="list-style-type: none"> 日本農業技術検定3級以上 計算技術検定1級 情報技術検定1級 パソコン利用技術検定1級 グラフィックデザイン検定1級 情報処理検定試験ビジネス情報部門1級又はプログラミング部門1級 簿記実務検定試験1級 商業経済検定試験1級 	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校海洋情報技術検定1級 高等学校栽培漁業技術検定1級 高等学校潜水技術検定1級 高等学校エンジン技術検定1級 全国高等学校家庭科被服製作技術検定和服1級又は洋服1級 全国高等学校家庭科食物調理技術検定1級 全国高等学校家庭科保育技術検定1級
賞	<ul style="list-style-type: none"> 国際数学オリンピックに日本代表として選抜された者又は日本数学オリンピック本選でAAランクの者 国際物理オリンピックに日本代表として選抜された者又は物理チャレンジの第2チャレンジにおいて銅賞以上を受賞した者 国際化学オリンピックに日本代表として選抜された者又は化学グランプリの二次選考において銀賞以上を受賞した者 国際生物学オリンピック日本代表として選抜された者又は日本生物学オリンピック本選において銅賞以上を受賞した者 国際地学オリンピックに日本代表として選抜された者又は日本地学オリンピック本選において銅賞以上を受賞した者 国際地理オリンピックに日本代表として選抜された者又は日本科学地理オリンピック選手権において銀賞以上を受賞した者 国際情報オリンピックに日本代表として選抜された者又は日本情報オリンピック本選で本選Aランクとなった者 	

入試について Q & A



Q1: 総合選抜と学類・専門学群選抜を併願できますか?

A1: できません。前期日程は、総合選抜の4区分から1つ、もしくは学類・専門学群選抜の21学類・2専門学群から1つを選ぶ必要があります。

Q2: 総合選抜と学類・専門学群選抜では出願資格に違いはありますか?

A2: ありません。

Q3: 総合選抜と学類・専門学群選抜の試験問題は違うのですか?

A3: 同じ問題で『1限: 外国語』『2限: 社会・数学』『3限: 国語・理科』となります。ただし、生物資源学類と地球学類においては、3限で「理科2科目」に加え「理科1科目+地理」も選択できるようになっています。この場合の地理問題は、2限の社会の時間に出題される問題とは異なります。

Q4: 高校時代の成績や入学試験での成績は学類・専門学群への移行に関係しますか?

A4: 高校時代や入試の成績はまったく関係しません。

Q5: 入学試験の選抜区分は学類・専門学群への移行に関係しますか?

A5: 特定の選抜区分で入学した学生を優先して受け入れる学類もありますので、受験するときに選んだ総合選抜の区分は移行に影響します。13ページをご覧ください。



その他の主な変更点

変更

- 推薦入試
人間学群(心理学類)
大学入試センター試験を課さない
↓
大学入学共通テストを課す
心理学類以外の推薦入試では
大学入学共通テストを課しません。

新規実施(復活)

- 個別学力検査等 後期日程
人間学群(教育学類、心理学類、障害科学類)
理工学群(物理学類、化学類)

廃止

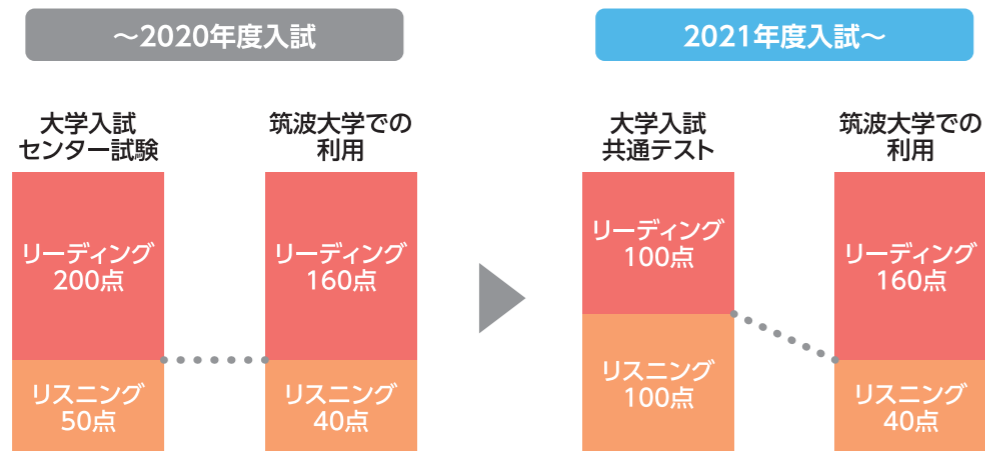
- 個別学力検査等 前期日程
人文・文化学群(日本語・日本文学類)
情報学群(知識情報・図書館学類)
前期日程では「総合選抜」を受験して、2年次から移行することになります。
- 個別学力検査等 後期日程
人文・文化学群(比較文化学類)
情報学群(情報科学類、情報メディア創成学類)
- 推薦入試(障害者特別入試)
人間学群(障害科学類)
- アドミッションセンター入試
生命環境学群(生物資源学類、地球学類)
理工学群(数学類、化学類、工学システム学類)
芸術専門学群
- 国際科学オリンピック特別入試
生命環境学群(地球学類)
理工学群(数学類)

変わらないこと

本学での大学入学共通テスト英語の成績及び英語資格・検定試験の取り扱いは今ままで同じです。

大学入学共通テストの英語の成績

大学入試センターから提供されたリーディングの成績(100点満点)の1.6倍(160点満点)とリスニングの成績(100点満点)の0.4倍(40点満点)を合計して用います(200点満点)。



英語資格・検定試験の取り扱い

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度推薦入試では、英語資格・検定試験の成績を総合評価に反映させないこととします。

個別学力検査等 前期日程(総合選抜) 個別学力検査等 前期日程(学類・専門学群選抜) 個別学力検査等 後期日程	利用しません。
推薦入試 推薦入試(大学入学共通テストを課す)	指定するスコアを有する場合に、総合評価に反映させます。 なお、出願資格ではありません。

※詳細やその他の入試については「学生募集要項」をご確認ください。

総合選抜とは

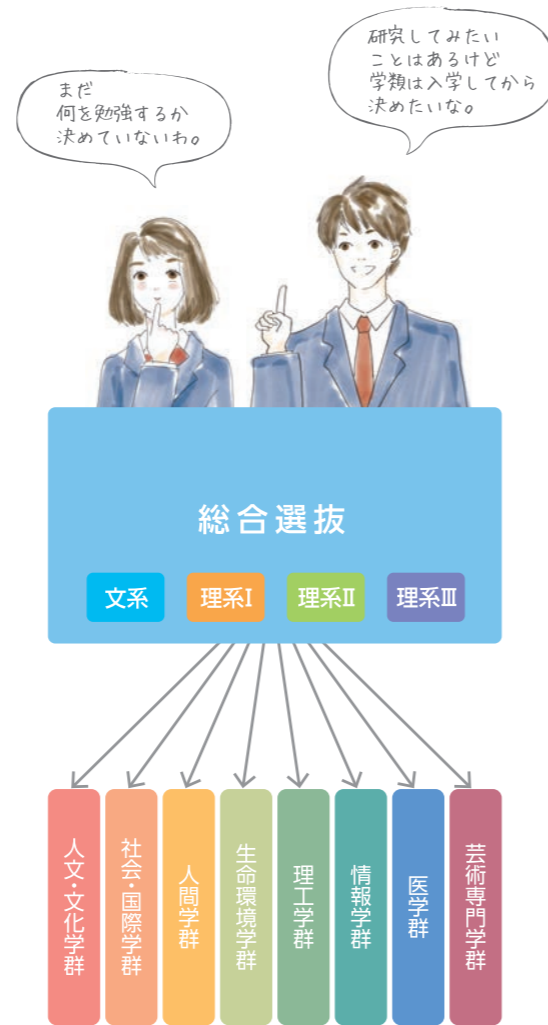
進路決定の固定観念から自由になろう!

「物理が得意だから、大学では物理学を勉強しよう」と決めてしまいませんか?大学にはみなさんの知らないたくさんの方の学問領域があります。高校で学んだ教科だけで進路を決めてしまうと、自分の将来を狭めてしまうかもしれません。情報学は理系、地理学や心理学は文系、と思いませんか?多くの学問は、文系、理系、どちらからもアプローチ可能です。まずは、それぞれの学問に実際に触れてみて、その後に専門を決めるという方法もあります。

それを叶える入試が「総合選抜」です。

これまでの筑波大学の入試全ては受験時に学群・学類を決める方式でした。総合選抜では「文系」「理系I」「理系II」「理系III」という学群・学類よりも幅広い区分で選抜します。入学後の1年間は総合学域群に所属し、英語をはじめとする外国語や情報、体育などの基礎科目のほか、様々な分野の専門導入的な科目を学び、1年次の終わりに本人の志望と入学後の成績などに基づいて2年次以降に所属する学群・専門学群が決まります。

いずれの区分で入学しても、体育専門学群を除くすべての学群・学類に進めます。ただし、志望する学群・学類の指定する科目を履修していることが条件となります。また、特定の選抜区分から入学した学生を優先して受け入れる学群・学類もあります。



「総合選抜」のアドミッション・ポリシー

求める人材

大学において学問的な俯瞰をしながら専門分野を定め、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な基礎学力と学習意欲を有する人材

入学までに学んでおいてほしいこと

高等学校までの基礎学力をまんべんなく身につけておくこと。また幅広く興味関心を持ち、学習に主体的に取り組む態度と自らのキャリアを選択できる力を養うことが望ましい。

「総合選抜」の選抜方針

■ 共通の選抜方針

外国語及び受験生が得意とする領域における思考力・判断力・表現力を重視しつつ、高等学校で学ぶ基礎・基本的な学力を全般的に評価します。

■ 文系

入学の時点で、文科系志向の学生を選抜します。

■ 理系I

入学の時点で、物理学の素養を必須として理科系志向の学生を選抜します。

■ 理系II

入学の時点で、特定分野にとらわれない理科系志向の学生を選抜します。

■ 理系III

入学の時点で、数学に重点をおいて理科系志向の学生を選抜します。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度一般選抜において、調査書を用いた主体性等評価を見送ります。このため、調査書の配点を除いた総点で選抜します。

総合選抜の試験科目と配点等

学系	大学入学共通テストの利用教科・科目名	個別学力検査等 教科・科目名等	2段階選抜
文系 128名	国語 国語 (200)	国語 現代文B・古典B (500)	約5倍
	地歴 世A 世B 日A 日B 地理A 地理B } から2 (200)	地歴 世B 日B 地理B } から1 (500)	
	公民 現社 倫 政経 倫・政経 } から2 (200)	公民 倫 } から1 (500)	
	数学 数I・数A } 計2 (200)	数学 数I・数II・数A・数B } 1教科選択 (事前選択) (500)	
	数II・数B 簿 情報 から1 } 計2 (200)	外国語 英 独 仏 中 から1 (事前選択) (500)	
	理科 物基 化基 生基 地基 から2 } (100)	その他 ●調査書 (0) (50)	
または 物理 化学 生物 地学 から1 (200)	「指導上参考となる諸事項」を中心として、高等学校における学習や諸活動に関する記載から、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。		
外国語 英リスニング含む 独 仏 中 韓 から1 (200)	(計1500点) (計1550点)		
(5・6教科7～8科目) (計900点)			
理系I 154名	国語 国語 (200)	数学 数I・数II・数III・数A・数B (500)	約4倍
	地歴 世A 世B 日A 日B 地理A 地理B } から1 (100)	理科 物基・物 } 計2科目 (500)	
	公民 現社 倫 政経 倫・政経 } から1 (100)	化基・化 生基・生 地基・地 から1 } 計2科目 (500)	
	数学 数I・数A } 計2 (200)	外国語 英 独 仏 中 から1 (事前選択) (500)	
	数II・数B 簿 情報 から1 } 計2 (200)	その他 ●調査書 (0) (50)	
	理科 物理 化学 生物 地学 から2 } (200)	「指導上参考となる諸事項」を中心として、高等学校における学習や諸活動に関する記載から、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。	
外国語 英リスニング含む 独 仏 中 韓 から1 (200)	(計1500点) (計1550点)		
(5教科7科目) (計900点)			
理系II 41名	国語 国語 (200)	数学 数I・数II・数III・数A・数B (500)	約5倍
	地歴 世A 世B 日A 日B 地理A 地理B } から1 (100)	理科 物基・物 化基・化 } から2科目選択 (500)	
	公民 現社 倫 政経 倫・政経 } から1 (100)	生基・生 地基・地 } から2科目選択 (500)	
	数学 数I・数A } 計2 (200)	外国語 英 独 仏 中 から1 (事前選択) (500)	
	数II・数B 簿 情報 から1 } 計2 (200)	その他 ●調査書 (0) (50)	
	理科 物理 化学 生物 地学 から2 } (200)	「指導上参考となる諸事項」を中心として、高等学校における学習や諸活動に関する記載から、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。	
外国語 英リスニング含む 独 仏 中 韓 から1 (200)	(計1500点) (計1550点)		
(5教科7科目) (計900点)			
理系III 90名	国語 国語 (200)	数学 数I・数II・数III・数A・数B (600)	約5倍
	地歴 世A 世B 日A 日B 地理A 地理B } から1 (100)	理科 物基・物 化基・化 } から2科目選択 (400)	
	公民 現社 倫 政経 倫・政経 } から1 (100)	生基・生 地基・地 } から2科目選択 (400)	
	数学 数I・数A } 計2 (200)	外国語 英 独 仏 中 から1 (事前選択) (500)	
	数II・数B 簿 情報 から1 } 計2 (200)	その他 ●調査書 (0) (50)	
	理科 物理 化学 生物 地学 から2 } (200)	「指導上参考となる諸事項」を中心として、高等学校における学習や諸活動に関する記載から、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。	
外国語 英リスニング含む 独 仏 中 韓 から1 (200)	(計1500点) (計1550点)		
(5教科7科目) (計900点)			

大学入学共通テスト欄における注意点

- ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、専門教育を主とする学科および総合学科を持つ高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)において、これらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。
- ※地理歴史、公民において、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
- ※英語について、リーディングの成績(100点満点)の1.6倍(160点満点)とリスニングの成績(100点満点)の0.4倍(40点満点)を合計して用います(200点満点)。

総合選抜入学者の2年次受入定員と優先受入人数

(令和3年4月入学者)

○は受け入れがあることを、◎は優先する選抜区分と優先受入人数を示します。

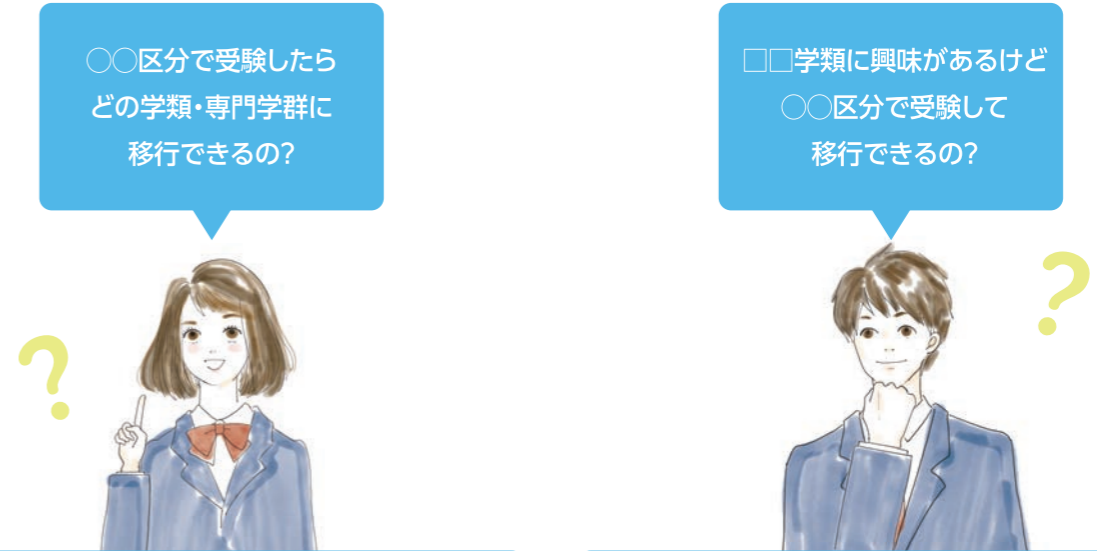
		選抜区分 募集人員	文系 128名	理系Ⅰ 154名	理系Ⅱ 41名	理系Ⅲ 90名
学群	学類	2年次受入定員*	2年次優先受入人数			
人文・ 文化学群	人文学類	30名	◎ (25名)	○	○	○
	比較文化学類	20名	◎ (17名)	○	○	○
	日本語・日本文化学類	20名	◎ (18名)	○	○	○
国際学群 社会・ 国際学群	社会学類	20名	◎ (16名)	○	○	○
	国際総合学類	20名	○	○	○	○
人間学群	教育学類	3名	○	○	○	○
	心理学類	5名	○	○	○	○
	障害科学類	3名	○	○	○	○
生命環境学群	生物学類	20名	○	○	◎ (15名)	○
	生物資源学類	20名	○	○	◎ (5名)	○
	地球学類	13名	○	◎ (6名)	◎ (4名)	○
理工学群	数学類	10名	○	◎ (8名)	○	◎ (1名)
	物理学類	15名	○	◎ (10名)	○	○
	化学類	13名	○	◎ (10名)	○	○
	応用理工学類	30名	○	◎ (27名)	○	○
	工学システム学類	33名	○	◎ (30名)	○	○
	社会工学類	30名	○	◎ (15名)	○	○
情報学群	情報科学類	20名	○	○	○	◎ (16名)
	情報メディア創成学類	18名	○	○	○	◎ (15名)
	知識情報・図書館学類	45名	◎ (10名)	○	○	◎ (30名)
医学群	医学類	5名	○	○	○	○
	看護学類	5名	◎ (2名)	○	○	○
	医療科学類	10名	○	○	◎ (4名)	○
体育専門学群		受け入れはありません。				
芸術専門学群	5名	○	○	○	○	
合計		413名				

*2年次受入定員は募集人員をベースに示したものです。実際の受入人数は、入学者数などによって異なります。

どの区分を選んで受験すればいいの？

文系・理系Ⅰ・理系Ⅱ・理系Ⅲは、試験教科・科目・配点に特色をもたせています。
(12ページをご覧ください。)

高等学校での学びや得意とする科目を生かして区分を選んでください。



該当する区分の列をしてみよう!

どの選抜区分で受験し入学しても、体育専門学群以外ならば、どの学類・専門学群にも移行する道があります。
◎がある学類は、その区分で受験した学生を優先して受け入れる人数を設定しています。
○の学類・専門学群は、その区分を優先することなく受け入れます。

該当する学類の行をしてみよう!

どの学類・専門学群も(体育専門学群以外)すべての区分で受験し入学した学生を受け入れの対象としています。
◎がある選抜区分は、その区分で受験した学生を優先して受け入れる人数を設定しています。
○のみの学類・専門学群は、特定の区分を優先することなく受け入れます。

令和3年度(2021年度) 入試カレンダー

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入試日程に変更が生じています。
最新の日程は大学ホームページでご確認ください。



月	一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜			グローバル選抜						
	個別学力検査等		推薦入試	推薦入試 (大学入学共通 テストを課す)	アドミッション センター入試	研究型 人材入試	国際科学 オリンピック 特別入試	国際 バカロレア 特別入試	海外教育 プログラム 特別入試	私費 外国人留学生 入試	帰国生徒 特別入試 (4月入学)	帰国生徒特別入試 (10月入学)		
	前期日程 (総合選抜) (学類・専門学群選抜)	後期日程										2021年3月実施	2021年7月実施	
6月					募集要項発表:6月下旬									
7月														
8月														
9月			募集要項発表:9月上旬		出願受付:9/1~4			出願受付:8/25~9/4		募集要項発表:9月上旬				
10月	募集要項発表:10月下旬				試験日:10/12~26									
11月			出願受付:11/6~11		最終合格発表:11/2	第2次合格発表:11/2	最終合格発表:11/2				出願受付: 11/6~11			
			試験日:11/26~27								試験日: 11/26~27	出願受付: 11月~12月中旬		
12月			最終合格発表:12/9	第1次合格発表:12/9	入学手続:12/9~11		入学手続:12/9~11				最終合格発表: 12/9			
			入学手続:12/17~22								入学手続: 12/17~22			
2021年 1月	大学入学共通テスト:1/16~17			大学入学共通テスト: 1/16~17		大学入学共通テスト: 1/16~17					出願受付: 1/14~20			
	出願受付:1/25~2/3													
2月				最終合格発表:2/10		最終合格発表:2/10								
	試験日:2/25~26			入学手続:2/11~16		入学手続:2/11~16					試験日: 2/25~26			
3月	最終合格発表:3/8	試験日:3/12									最終合格発表: 3/8		試験日: 3/1~11	
	入学手続:3/11~14	最終合格発表:3/20									入学手続: 3/24~26		最終合格発表: 3/30	
4月	入学式:4月上旬		入学式:4月上旬		入学式:4月上旬			入学式:4月上旬					入学手続: 4月中旬	募集要項発表: 4月中旬
5月														
6月													出願受付: 6月上旬	
7月													試験日: 7月中旬	
													最終合格発表: 7月下旬	
8月													入学手続: 8月下旬	
9月														
10月												入学式:9月下旬		

入試の種類・募集人数
入試改革のポイント
入試について Q&A
総合選抜とは
入試カレンダー
入学後の教育
入学後の教育について Q&A
学類・専門学群への移行について
総合選抜入学者サポート体制について
入学者選抜要項・学生募集要項の発表
お問い合わせ

入学後の教育

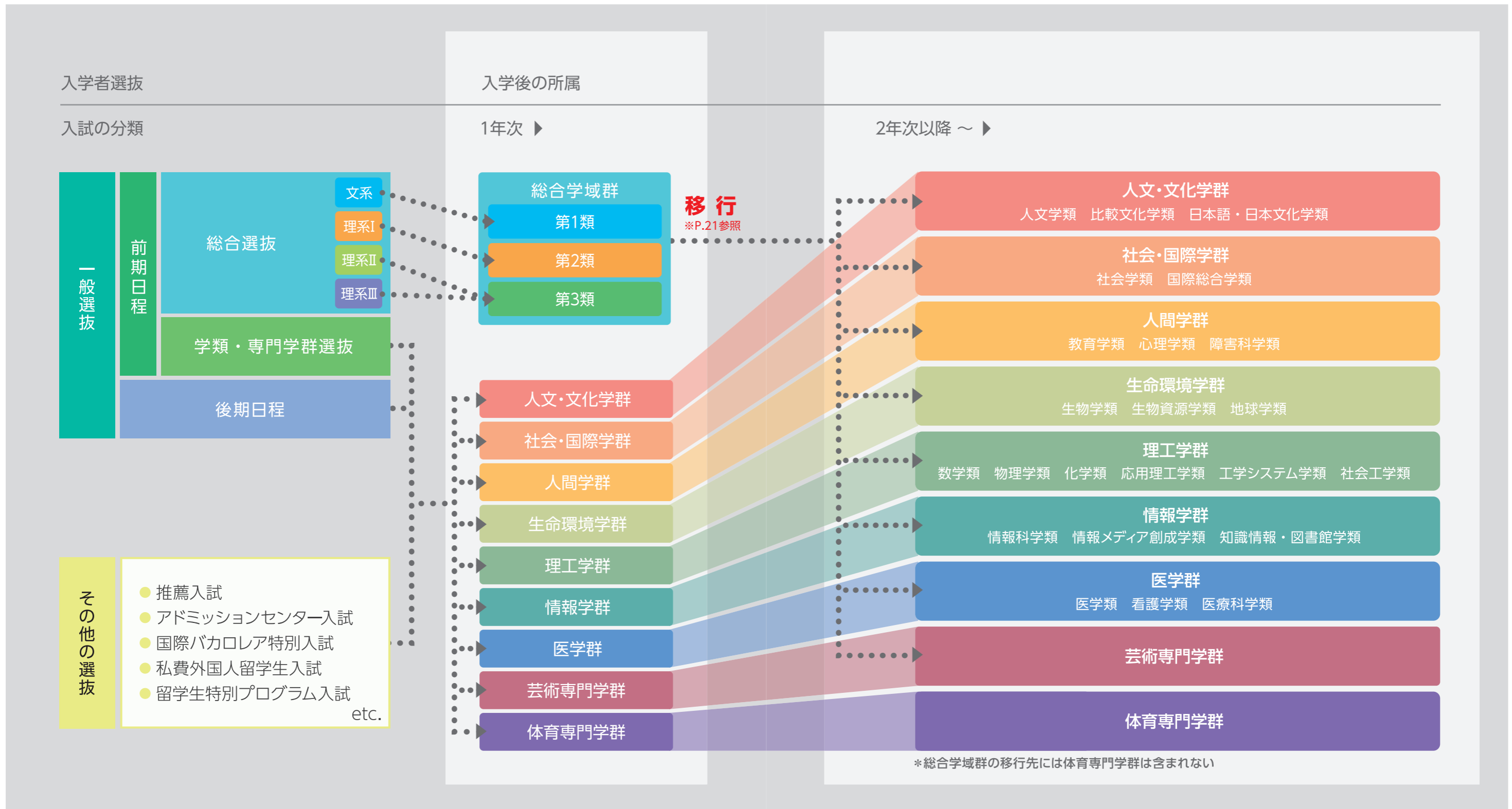
履修体系について

前期日程(総合選抜)で入学した学生は、1年次に「総合学域群」に所属します。総合選抜で入学した学生も、学類・専門学群選抜で入学した学生も、入学後は同じ履修体系の中で学びます。

また、筑波大学では、所属によらず幅広い分野の授業科目が履修できます。自分の関心のある科目を履修して興味を広げ、移行先を検討する際の材料にしてください。

類・クラス編制について

総合学域群では、文系・理系別に、約20人ごとのクラスが編制されます。また、クラスが複数集まり、「類(第1類、第2類、第3類)」を構成し、学生は類・クラスに所属します。



入試の種類・募集人数
 入試改革のポイント
 入試について Q&A
 総合選抜とは
 入試カレンダー
 入学後の教育
 入学後の教育について Q&A
 学類・専門学群への移行について
 総合選抜入学者サポート体制について
 入学後選抜要項・学生募集要項の発表
 お問い合わせ

1年次の履修科目

1年次では、主として「共通科目」および全学向け入門科目である「専門導入科目」を履修します。「共通科目」は、全学生必修の総合科目、体育、外国語、情報など、大学での学修で必要とされる基本的な能力を身につけることを目的とした科目が中心です。

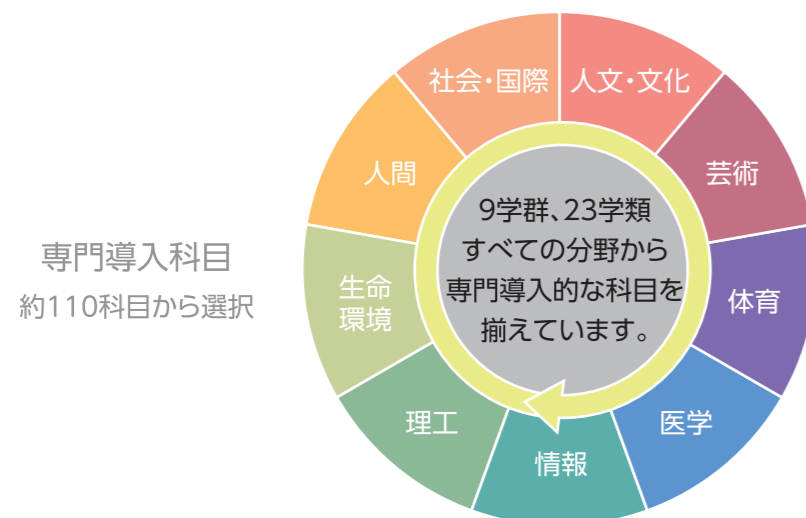
共通科目

総合科目	初年次においては大学の学修環境に適応し、自律的にキャリア形成を始めることを支援する科目です。更に専門分野へ進むための知識基盤を整えます。
体育	スポーツ科学を基にした多様なスポーツ実践を通し、「健やかな身体、豊かな心、たくましい精神」を養います。
外国語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語があります。学術研究の場で外国語が駆使できるようになることをめざします。
情報	「情報リテラシー」で情報とコンピュータに関する基本概念を学び、「データサイエンス」でデータ収集・管理・分析に関する基本概念を身につけます。
国語	国際化した知識基盤社会を生き抜くために、日本語について正しい知識を習得し、自己の意思を的確に表現し伝達する能力を養います。
芸術	美的感性を磨き、表現する喜びを体験します。総合大学の学生にふさわしい豊かでバランス感覚のある人間性を育みます。

専門導入科目

「専門導入科目」は各学問分野への入門的な科目です。筑波大学では、学生が様々な専門分野を体系的に学べるよう、専門分野の入り口として「専門導入科目」を用意しています。専門導入科目は高校卒業程度の知識を前提とした内容で、すべての学類・専門学群から様々な科目が提供されています。科目を幅広く履修できるよう時間割に配慮がされています。

専門導入科目などから興味のある科目を選択して学びながら、移行したい学類・専門学群について考えてください。志望する学類・専門学群によって移行・卒業に必要な科目は異なります。科目の履修や移行先の選択にあたっては、ホームページ上の情報が参考になるほか、アカデミックサポートセンターのスタッフなどに相談することができます。



入学後の教育 Q & A



Q1:進みたい学類・専門学群がまったく決まっていのですが、1年で決められるようになるのか不安です。



A1:そうした不安を解消するためのサポート体制が用意されています。総合選抜の利点は、自分の将来の可能性を考えながら、いろいろな学問領域の勉強を進め、そのなかで専門を決められるところにあります。そのため、クラス担任やアカデミックサポートセンターのスタッフがみなさんの進路選択の相談にのり、どの選択がみなさんの将来にとって良いのかを一緒に考えていきます。

Q2:1年次に留学できますか？

A2:できます。ただし、留学することにより履修できない科目があると、希望する学類・専門学群へ移行できるかどうかに影響する可能性があります。詳しくは入学後に相談してください。

Q3:移行後に学類・専門学群選抜で入学したグループについていけるかどうか、仲間に入れるかどうか不安です。

A3:移行後の教育は、所属した学類・専門学群が責任を持って対応します。編入学生や留学生等、途中年次から筑波大学に通い始める人も大勢いますが、授業に出ているなかで、自然と仲も深まっていき楽しそうにしています。また、学生生活について何でも相談できる窓口があります。

Q4:総合選抜で入学すると、それ以外の学生とは別の科目を履修する必要がありますか？

A4:必要はありません。卒業までに履修しなければならない科目はそれぞれの学類・専門学群が定めており、総合選抜で入学しても、卒業に必要な要件は同じです。ただし、総合選抜以外の入試区分で入学した学生は、主として既に定められた履修計画に沿って履修するのに対して、総合学域群の学生は移行までの1年間、複数の学類・専門学群の提供する科目を幅広く履修し、志望学類・専門学群の絞り込みを行うことが予想されます。そのため、その他の選抜で入学した学生に比べて、より幅広い科目を履修することになるかもしれません。



総合選抜入学者 学類・専門学群への移行について

総合学域群の学生は、1年間の学びの後、所属する学類・専門学群が決まります。これを「移行」と呼びます。どの学類・専門学群に「移行」するかは、本人の志望と、入学後の成績や適性に基づいて決定します。どの選抜区分(文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲ)で入学しても、体育専門学群を除くどの学類・専門学群にも移行する道があります。

移行先を選ぶには

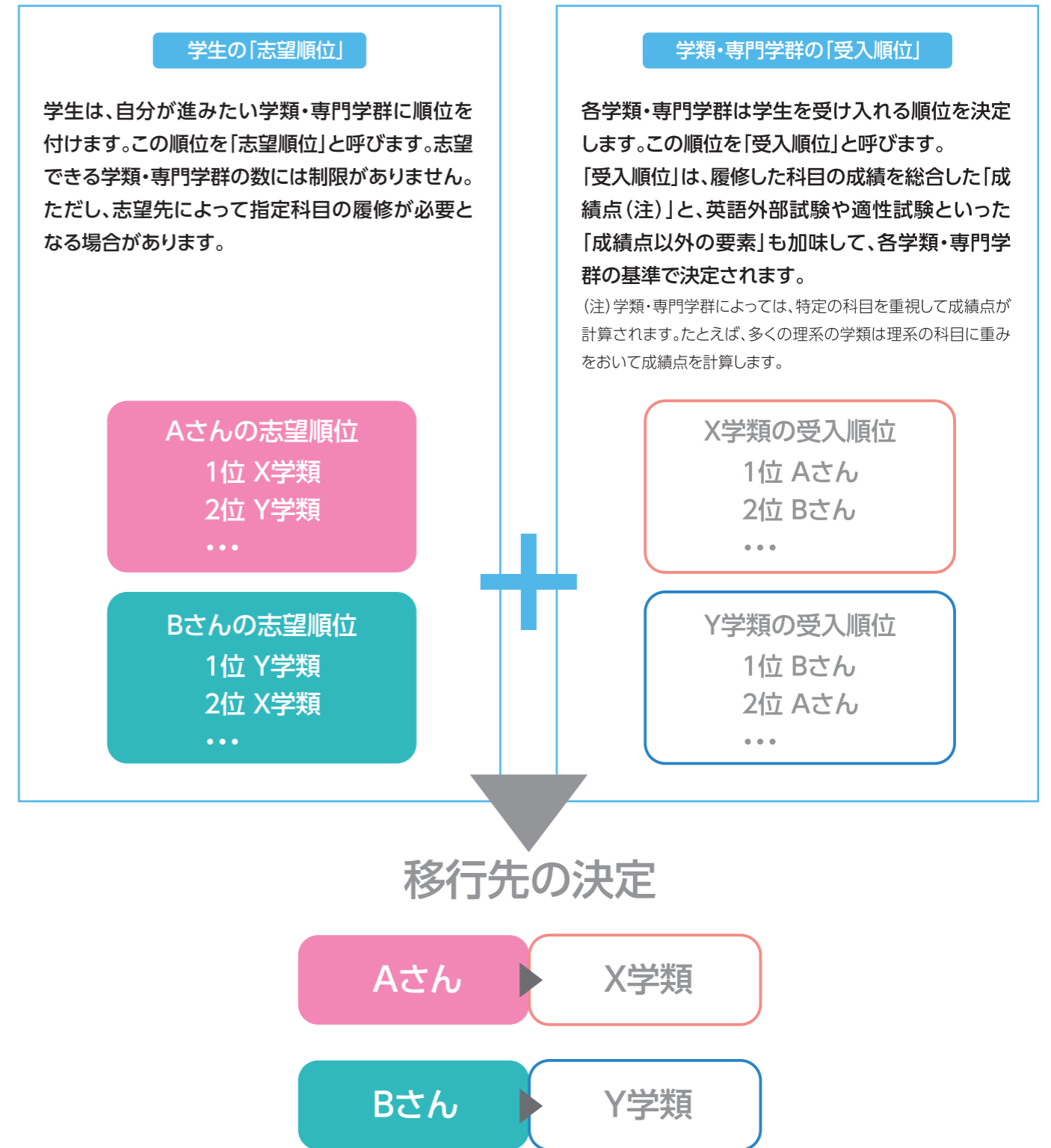
- Web・冊子等で提供される情報
- 全学必修科目「学問への誘い」
入学後すぐに履修するこの科目は、幅広い学問分野を俯瞰する助けとなります。
- 興味・関心に基づいて履修した科目の講義内容
- 各種ガイダンス……………詳しくはP.23「サポート体制について」を参照
- アカデミックサポートセンターのスタッフなどとの相談……………

などが役に立ちます。



学類・専門学群の決定

1年次の3月に、2年次に移行する学類・専門学群が決まります。移行先は、学生の「志望順位」と学類・専門学群の「受入順位」の組み合わせによって決定されます。



模擬判定

年に数回、実施時点の成績情報を用いて、移行の可能性を判定する「模擬判定」が行われます。この結果を踏まえて移行先を検討することで、履修する科目の選択および志望先の検討に活かすことができます。この時点での判定結果が実際の移行先決定に影響を与えることはありません。

あなたの夢を叶えるお手伝い 希望の移行先に向けて、丁寧で手厚いサポート!

SUPPORT 1

類・クラス

入学して所属する類(第1類、第2類、第3類)・クラスが、皆さんの大学生活初年度の基本単位です。クラス担任が、実施するフレッシュマン・セミナーなどを通じて、皆さんの修学や学生生活全般について助言や相談に応じます。また、クラスや類において複数回履修等のガイダンスを実施する予定です。



進路相談(イメージ)

SUPPORT 2

アカデミックサポートセンター

総合学域群の学生は入学してからの学びのなかで、将来の進路や自分の関心、適性にあった学類・専門学群を選択します。入学直後は、自分の興味・関心が定まらず学類等の選択や科目の選択に迷うかもしれません。アカデミックサポートセンターでは、学類等の絞り込みの助言や適切な履修計画・進路選択等をしっかりとサポートします。



学修相談(イメージ)

SUPPORT 3

全学学生支援組織

保健管理センター/学生相談室/DACセンター(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター)

すべての学生に向けて、健康面や学修面などをサポートする体制を用意しており、これらの組織も積極的に活用してください。



Q & A

Q1

どうやって時間割を作成したらいいのかな?履修計画を立てたことがないけど、自分一人でも立てられるのかな…。



自分の興味のあることを学ぶような志望先が見えてきたけど、授業の内容が難しく、志望先に移行できるのか心配です。



A1

アカデミックサポートセンターのスタッフが、入学直後のオリエンテーションや随時実施される個別相談を通じ、志望先に沿った履修計画に係る相談に応じます。授業を受ける中で、自分の志望に合わせて履修計画を変更するので、個別相談を積極的に活用してみましょう。また、授業の内容についてわからないことがある場合、大学院生のTA(ティーチングアシスタント)が勉強の仕方やその内容について具体的に助言します。

Q2

どのタイミングで志望先を絞り込んで、最終的に志望先を決めればいいのか?

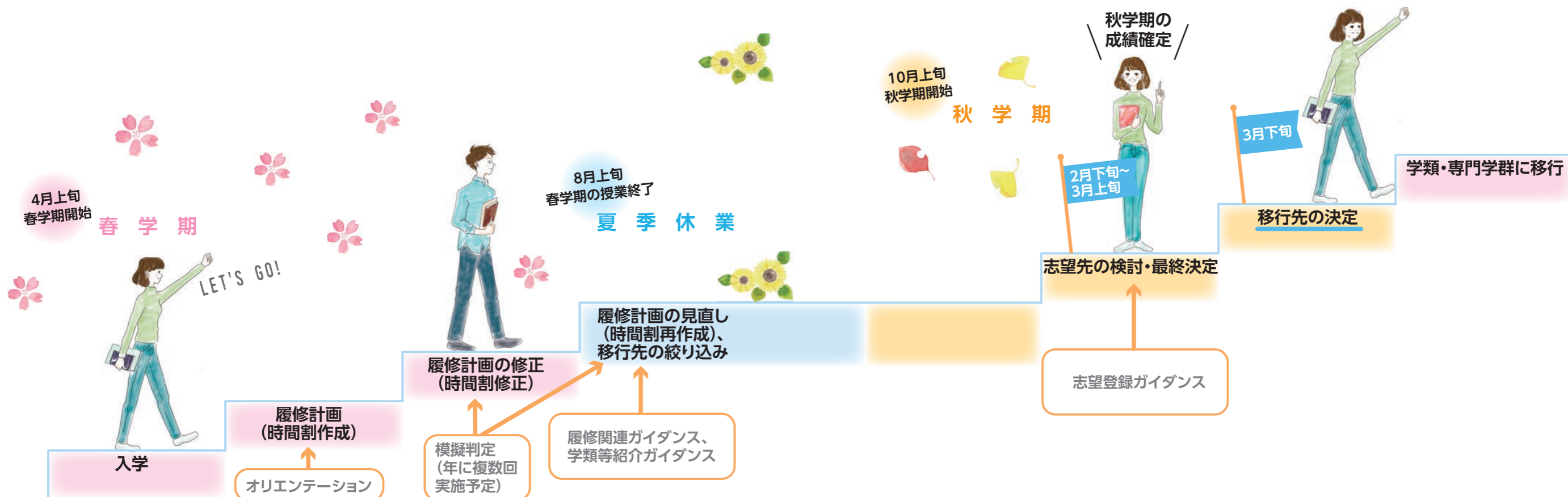


自分の興味のあることを学ぶためには、どの学類・専門学群を選択すればいいのか?



A2

入学してから移行するまでの間に、移行先の絞り込みのためのガイダンスが複数回実施予定です。また、移行がスムーズに行えるように、アカデミックサポートセンターのスタッフが個別に対応します。各学類・専門学群から選出されたアカデミックアドバイザーもそれぞれの学類・専門学群の教育内容を詳しく説明します。さらに、アカデミックコーディネーターは学類を越えた領域横断的な観点から助言します。これらのサポートを通じて、自分の関心に合った適切な学類・専門学群が見つかるでしょう。



入学者選抜要項・学生募集要項の発表

入試に関する資料は以下の2種類があります。

入試に関する全ての資料をホームページで見ることができます。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、発表時期が変更になる場合があります。

入学者選抜要項の発表時期

その年度に実施する筑波大学の入学試験について、概要(入試の種類、試験日程、募集人員、入試科目など)がまとめられた資料です。

7月下旬

学生募集要項の発表時期

出願期間、提出書類、試験日程、試験科目、試験会場、合格発表日、検定料など、受験するために必要な情報が全て記載された資料で、入試ごとに作成されます。受験を検討している入試や出願を決めた入試について、該当年度の学生募集要項を必ず確認してください。

個別学力検査等 前期日程(総合選抜)	10月下旬
個別学力検査等 前期日程(学類・専門学群選抜)	
個別学力検査等 後期日程	
推薦入試	9月上旬
推薦入試(大学入学共通テストを課す)	
アドミッションセンター入試	6月下旬
研究型人材入試	6月下旬
国際科学オリンピック特別入試	6月下旬
国際バカロレア特別入試	6月下旬
海外教育プログラム特別入試	6月下旬
帰国生徒特別入試	(4月入学)9月上旬 / (10月入学)4月中旬(7月実施) 9月上旬(3月実施)
私費外国人留学生入試	9月上旬
私費外国人留学生特別コース入試	7月下旬
Japan-Expert(学士)プログラム特別入試	12月下旬
地球規模課題学位プログラム(学士)入試	12月下旬
総合理工学位プログラム(学士)入試	7月下旬

全ての入試が
インターネット出願です

願書取り寄せ
不要



University of Tsukuba

お問い合わせ

受付時間 / 9:00~12:00、13:15~17:00 月曜日~金曜日(祝休日、休業日を除く)

お問い合わせ内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●入試改革に関すること ●入試に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・アドミッションセンター入試 ・国際バカロレア特別入試 ・国際科学オリンピック特別入試 ・海外教育プログラム特別入試 ほか ●進学相談に関すること 	アドミッションセンター TEL:029-853-7385 MAIL:ac-img@ml.cc.tsukuba.ac.jp
<ul style="list-style-type: none"> ●入試に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査等(前期日程・後期日程) ・推薦入試 ・帰国生徒特別入試 ほか ●オープンキャンパスに関すること 	教育推進部入試課 TEL:029-853-6007 MAIL:gm.nyusika@un.tsukuba.ac.jp